

サリールによる歯科診療所の減菌報告

歯科オリエンテーション協会 中村歯科診療所 芝原建夫
中村喜一

<はじめに>

最近、歯科診療所における細菌感染が問題になっている。例えば、A型B型肝炎やエイズ等である。この対策として、オゾンは塩素系の約7倍という強力な殺菌力を持ち、そのため他の薬剤では酸化できない細菌・微菌・ウィルスの除菌にも効果があることが知られている。今回、オゾン・負イオン発生器「サリールKO-108」を歯科診療所に設置することによって、空気中の細菌の減菌効果と診療所特有の臭気の脱臭効果が確認されたので、その結果を報告する。

<調査方法>

土日休診の翌日、事前調査と事後調査に分けて、その結果を比較する方法をとった。

事前調査…平成3年11月25日（月）午後4時30分…診療所内の状態のまま

事後調査…平成3年12月2日（月）午後4時30分…サリール（KO-108×2）9時～稼働

当診療所は、ビジネスビル6階に位置するため、人の出入りは頻繁である。また、細菌に対する特別な対策は講じられてないため、浮遊細菌の侵入は容易であると思われる。念のため室内空気的环境基準を同時に実施したところ、事前調査日・事後調査日・いずれも「建築物の環境基準」に適合する範囲であった。

<調査結果>

調査結果は、事前と事後のいずれも普通培地を用いて落下菌を5分間採取し、その結果を24時間培養して比較し、そのコロニー数で判定した。

設定場所	事前調査一般細菌数	事後調査一般細菌数
1) 待合室付近	2	1
2) 待合室座席中央付近	3	0
3) 診療所出入口付近	2	1
4) 診療所キャビネット上	1	0
計	8	2

<考察>

- 1) オゾン・負イオンによる歯科診療所内の細菌の減菌効果が見られた。
- 2) この結果には、歯科受診者の不必要で過大な恐怖心を緩和する効果があると思われる。
- 3) オゾン・負イオンの発生による空気循環の変動は見られなかった。
- 4) 浮遊菌は、人・物の出入りや季節・環境などの条件によって変動すると思われる
- 5) オゾン・負イオンの利用によって、歯科診療所特有の臭気の抑制効果も期待できる。